

ポリマーアロイにおける相溶性の基礎と構造・物性制御

～相容化剤の分類・効果、ブレンドによる物性への影響、成形加工など～

セミナーURLはこちら→ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/260276>

1名分料金で
2人目無料

- ◆日時: 2026年02月09日(月) 10:30～16:30
- ◆【アーカイブ配信受講: 2/12(木)～2/19(木)】の視聴を希望される方は、
⇒<https://www.rdsc.co.jp/seminar/260276A> からお申し込み下さい。
- ◆受講料: 1名につき55,000円(税込、資料付)

会員(案内)登録していただいた場合、通常1名様申込で55,000円(税込)から
・1名で申込の場合、**49,500円(税込)**へ割引になります。
・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、**計55,000円(2人目無料)**です

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 山形大学大学院 有機材料システム研究科 助教 博士 西辻 祥太郎 氏

【受講対象】

・若手技術者や新人の方。

【習得できる知識】

・ポリマーアロイに関する幅広い知識が得られ、新規ポリマーアロイ材料を作るための材料設計に対する考え方を理解することができる。

【講演の趣旨】

高性能高分子材料を開発する方法として、2種類以上の高分子を複合化するポリマーアロイは非常に重要である。本講演では、まずポリマーアロイの定義について述べ、開発事例を紹介しながら歴史に触れる。そして、相溶性や熱力学といったポリマーアロイの物理について詳しく説明する。次にポリマーアロイにおいて最も重要である構造と力学物性の関係について述べ、顕微鏡法および散乱法を用いた構造解析、ポリマー同士の界面構造、相容化剤の種類や効果について説明する。さらに現在のポリマーアロイの開発ではなくてはならない方法であるリアクティブプロセッシングの構造制御に関して詳しく説明する。これらの知見を踏まえて、具体的な開発事例を通して、押出機を用いた新規ポリマーアロイの開発や特殊溶融混練について紹介し、その仕組みや構造制御に関して概説する。最後に今後のポリマーアロイの開発についても言及する。

【プログラム】

1. ポリマーアロイの基礎

- 1-1 ポリマーアロイの定義
- 1-2 ポリマーアロイの歴史
- 1-3 相溶性と相容性
- 1-4 相図と熱力学

2. ポリマーアロイの構造

- 2-1 構造と力学物性
- 2-2 構造の解析手法
- 2-3 ポリマーアロイの界面構造
- 2-4 相容化剤の種類・効果
- 2-5 リアクティブプロセッシング

3. ポリマーアロイの成形加工

- 3-1 溶融混練押出
- 3-2 高L/D二軸混練押出機とリアクティブプロセッシング
- 3-3 特殊溶融混練機による新規ポリマーアロイの開発

4. 今後のポリマーアロイ

- 4-1 超分子とポリマーアロイ
- 4-2 資源循環社会とポリマーアロイ

『ポリマーアロイ【WEBセミナー】』セミナー申込書※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒☐LIVE/☐アーカイブ

会社・大学			
住 所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐Eメール ☐郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>